

一、事業主側

會社側ニ於テハ重役會議ヲ開キ對策協議ノ上前報解雇手當額
 ヲ以テ交渉ニ衝リ最後ニ至リテハ相當増額スル意嚮アリ
 第議團代表ト、折衝ハ主トシテ大平取締役、能村監査役ヲ充
 テ下記ノ如ク交渉セリ他方全工場従業員ハ平常ノ通就業ニ現
 下ニテハ第議ニ関心薄キモ從業ノ關係上去ル五日從業員一
 ヨリ金七拾壹圓七拾錢ノ同情金ヲ第議團ニ送りタリ

二、第議團側

第議加盟者(全部解雇者)ハ既報ノ通第議團本部ニ集合シ代
 表ヲ舉ケテ會社ニ交渉セルモ何等進展セズ持久戦トナレル為
 七月九日ヨリ行商隊ヲ組織シ日用品、行商ヲ屬ス事トナレリ
 本第議ニ對シ全協系日本金屬労働組合ハ裏面ニ於テ團員ヲ操
 縱シ第議ノ激化ヲ計画シ別添(内相閣下ニノミ)ノ如キア
 ン

ビラヲ關係組合ニ發送スルト共ニ從業員ニモ配布シ組合員ノ
 獲得ニ努ムル等積極的ノ行動ヲ採リ、ワ、アリ

三、交渉状況

六月午後二時會社ニ於テ第議團代表榎本喜一外八名ハ會社
 代表ト會見シ交渉ノ結果前回ノ要求額三百圓ヲ二百圓ニ讓
 歩シタルモ會社側ノ容ル、處トナラズ引揚ケタリ

七月七日會社ニ於テ兩者會見、上前日讓歩セル各人解雇手當
 二百圓ハ會社ノ經濟上ヨリ二回ニ支拂フモ差支ナキモ解雇
 職工ノ内三分、二ヲ復職セシムル時ハ會社側發表ノ通手當
 額ヲ承認スル旨述べタルモ之又會社側ノ拒絕スル處トナリ
 決別セリ

(3) 爾來交渉ヲ重ネタルモ何等進展セサルニヨリ第議團側ニ於
 テハ今後發生スル不詳事ハ全部會社ノ責任ナリト放言シ九
 日ニ至リ一先ツ決裂ノ状態トナレリ